

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画

令和元年度事業 点検・評価調書

4-III-7

	章 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目 携帯電話通話エリアの拡大	
節 III 安全対策の徹底			
4-III-7 事業(施策)名 事業実施期間	7 携帯電話通話エリアの拡大	事業主体 佐渡市総務課	
	H28～R4	関連団体 佐渡市世界遺産推進課	
事業概要 R元 事業計画と実績	【事業目的】 ○通話エリアの拡大により、緊急時の通信手段と来訪者の利便性確保を図る。		
	【事業内容】 ○通信エリア拡大に向けた事業計画の策定と通信事業者への働きかけを行う。		
課題・今後の取組	【元年度計画】 ●携帯電話の不通エリアは、市内の居住者区域においてはほぼ解消（いざれかの通信事業者がエリア化）しており、非居住者区域において整備を必要とする区域の調査を行い通信事業者に要望する。		
	【元年度実績】 ●非居住者区域において整備を必要とする区域の調査を行い通信事業者に要望した。		
事業評価	【課題】 ■通信事業者への働きかけにおいて、事業者が納得する説明（拡大の必要性）の整理が必要である。 ■建柱位置などが景観計画特別区域等の場合、事前協議が必要である。		
	【今後の取組】 ■通話エリアの拡大が必要な区域の具体的な設定について、継続して調査するとともにエリア拡大に向けた要望を行っていく。		
	【事業の達成度】 [a (b) c] ◇非居住者区域における、通話エリアの整備を必要とする区域の調査を進めており、概ね計画通り進んでいる。		
	【事業実施の効果】 [a (b) c]		
	【総合評価】 [A (B) C]		

a:進んでいる。高い。

b:概ね順調。概ね適切。

c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。